



訓練概要

1 目的

大規模地震や国民保護事態の発生を想定し、警察、消防、自衛隊、ライフライン等の防災関係機関や自主防災組織を中心とした住民参加型の実践的な訓練を実施し、組織横断的な連携による災害対応能力や地域防災力の向上を図る。

2 被害想定

(1) 防災訓練

南海トラフ地震が発生し、本市で最大震度6強を観測するとともに、兵庫県瀬戸内海沿岸に津波警報が発表され、広範囲で家屋等の倒壊やライフラインの寸断が発生した。

(2) 国民保護訓練

他国から化学兵器を搭載した弾道ミサイルが発射され、本市に着弾したことにより、多数の負傷者が発生した。

3 参加機関

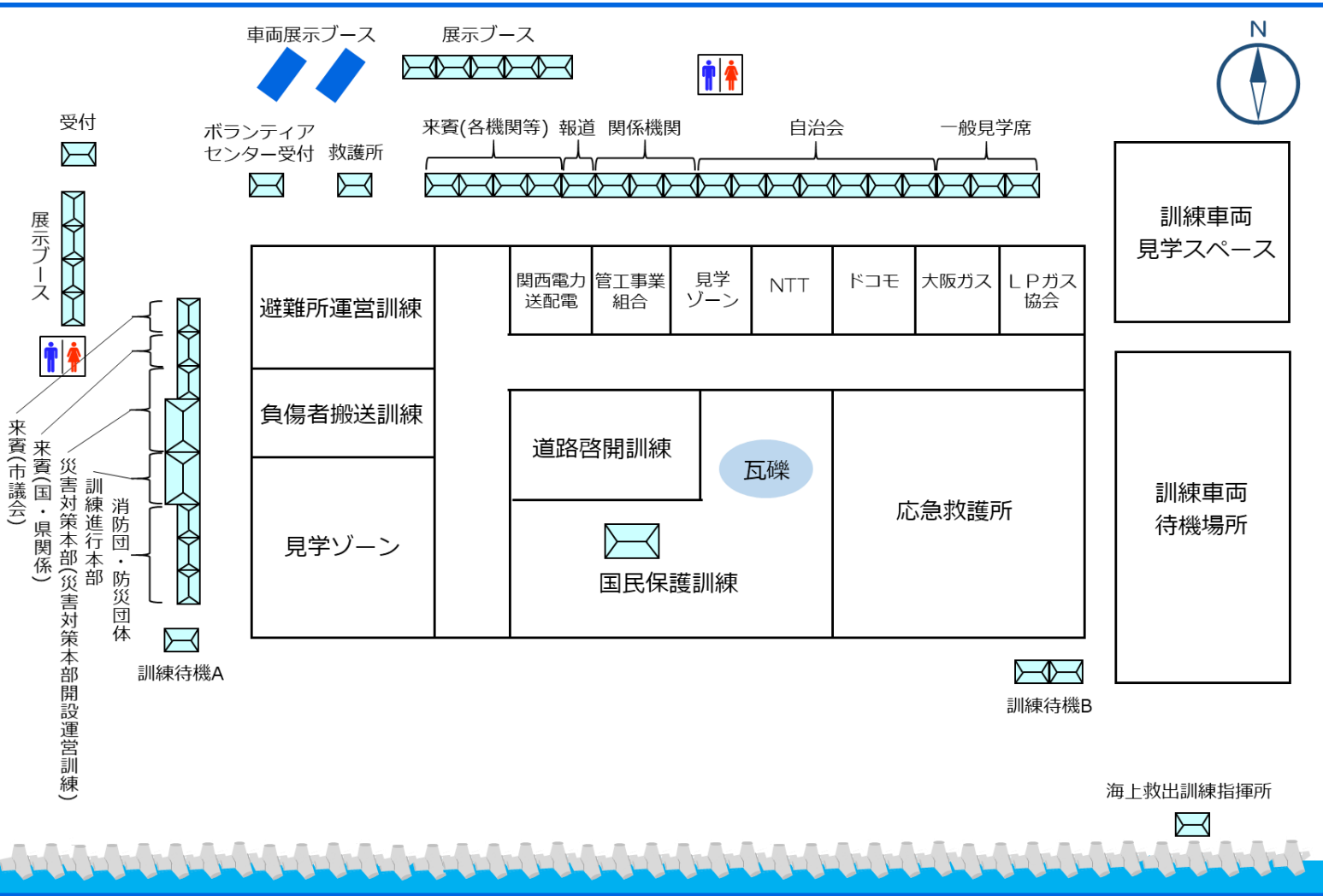
約60機関、約1,000人

(国、県、市等行政機関、自主防災組織、消防団、医療機関、協定事業所、ライフライン関係等)



【詳細はウェブサイトへ】

会場レイアウト



タイムテーブル（総合防災訓練）

No.	時間	所要時間	訓練項目	訓練概要
	9:30~12:30	180分	防災体験・展示コーナー開設	住民・見学者等への防災意識の啓発
【 10:00 地震発生 】				
①	10:00~10:01	1分	シェイクアウト訓練	地震から身を守るための3動作（まず低く、頭を守り、動かない）を、その場で一斉に行います。
②	10:01~10:08	7分	情報伝達訓練	防災行政無線、市公式LINE、ひめじ防災ネット等を用いて災害情報を発信します。
③	10:01~10:35	34分	災害対策本部開設運営訓練	災害対策本部を設置し、最新のデジタルシステムを用いて、迅速な情報収集や本部の運営訓練を行います。
④	10:01~10:08	7分	消防指揮隊先遣調査訓練	ハイスパックドローンで上空から被害状況を調査し、その映像をリアルタイムで配信・共有する訓練を行います。
⑤	10:03~10:10	7分	被害状況調査訓練	様々な手段で市内の被害を確認・パトロールし、災害情報を収集する訓練を行います。
⑥	10:05~10:10	5分	神戸地方気象台との情報伝達訓練	気象台とオンラインで、今後の地震の見通しや警戒すべき情報を受け取る手順を確認します。
⑦	10:10~10:30	20分	車両救出・道路啓開訓練	負傷者の救出・搬送を行うとともに、道をふさいでいる車両を撤去し、緊急車両が通行できるようにする訓練を行います。
⑧	10:10~10:30	20分	住民避難・避難所開設・負傷者搬送訓練	住民や要援護者の避難、避難所の立ち上げを行います。併せて身近な物での担架作りや搬送、AEDの使い方を確認します。
⑨	10:16~11:40	84分	応急救護所開設・トリアージ訓練	電気自動車を電源に救護所（テント）を設置し、負傷者の緊急度判定（トリアージ）や応急処置を行います。多言語ツールや妊産婦への対応も確認します。
⑩	10:20~10:50	30分	ボランティアセンター開設運営訓練	災害ボランティアの受け入れ窓口を立ち上げ、支援を求める人とボランティアを円滑につなぐための手順を確認します。
⑪	10:30~11:00	30分	避難所運営訓練	避難所における電気自動車や給水車による生活基盤の確保、炊き出し、物資の仕分けを行います。また、デジタル技術を活用した物資の調達・支援やQRコードによる入所管理など、障害者・ペットへの配慮を含めた運営体制を確認します。
⑫	10:30~11:00	30分	インクルーシブ訓練（災害時要配慮者・外国人観光者・妊産婦対応）	外国人への多言語ツールを用いた救護や、妊産婦を避難所から救護所へ安全に搬送する手順を確認します。
⑬	10:30~10:50	20分	ライフライン復旧訓練	水道・電気・ガス・通信の各事業者が連携し、災害で被害を受けた生活インフラを迅速に復旧させる手順を確認します。
⑭	10:35~10:50	15分	トイレトレーラー運用訓練	避難所でのニーズに合わせ、トイレトレーラーを安全に搬入・設置し、速やかに利用を開始するための運用手順を確認します。
⑮	10:50~11:20	30分	国民保護訓練	タイムテーブル（国民保護訓練）のとおり
⑯	11:20~11:35	15分	海上救出訓練	漁協が発見した遭難者を海上保安部・海上自衛隊・消防が連携して救出します。警察や民間船舶も協力し、海上の命を守る広域的な救助活動を確認します。
⑰	11:35~11:40	5分	一斉放水訓練	地域の守り手である消防団が集結し、火災の延焼を防ぐための迫力ある一斉放水を行います。
⑱	11:40~11:50	10分	閉会式	訓練全体の振り返りとして講評を行い、今後の防災活動に向けた決意を示します。
サブ会場での訓練（オンラインによる連携）				
⑲	10:00~11:40	100分	福祉避難所運営訓練（通園センター）	在宅で人工呼吸器を使用されている方の避難を想定した福祉避難所への移送・受入訓練を行います。

タイムテーブル（国民保護訓練）

No.	時間	所要時間	訓練項目	訓練概要
【 10:50 国民保護事案発生 】				
①	10:50~10:51	1分	Jアラート伝達作動対処訓練	Jアラートによる緊急情報を、防災行政無線やメール、アプリなど様々な手段で一斉に配信します。情報を正しく受け取り、身を守る行動をとる手順を確認します。
②	10:51~10:58	7分	情報収集・広報訓練	ハイスパックドローンや警察・自衛隊の車両、海上保安部の船などが連携し、空・陸・海から被害状況を調査します。最新の映像配信やパトロールを通じて、迅速に情報を集めて共有する手順を確認します。
③	10:52~11:20	28分	現地調整所開設・運営訓練	現場の指揮を執る「現地調整所」を設置し、刻々と変わる被害状況をまとめ、各機関の活動を調整する手順を確認します。
④	10:55~11:20	25分	要救助者救出・救助訓練①（倒壊建物救出）※ホットゾーン	特殊な防護服を着用し、高度に危険な区域にある建物から負傷者を救出します。化学剤に汚染された、一刻を争う状態の要救助者への迅速な救出・対応手順を確認します。
⑤	10:55~11:20	25分	要救助者救出・救助訓練②（瓦礫救出）	チェーンソーやエンジンカッターなどの専門機材を使い、崩れた建物の瓦礫から負傷者を救出します。各部隊の高度な機材操作と迅速な連携手順を確認します。
⑥	10:55~11:20	25分	除染所の設営・除染	有害物質を取り除く「除染所」を設置します。救助された負傷者に対し、水で洗い流すなどの適切な洗浄処置を行い、自衛隊と協力して汚染の拡大を防ぐ手順を確認します。



メイン会場では、防災に関する展示・体験コーナーを設置するほか、車両展示や炊き出しも行います！



YouTubeによるLive配信はこちら